

絵画入門 よくわかる神仏と人物のフシギ

2025年7月5日(土)～9月23日(火・祝)

古美術のなかの神さま、仏さま、そして人の姿に注目する絵画の入門展です。やまと絵に描かれた高貴な人々、仏画や垂迹画(すいじゃくが)に表された神仏、禅宗に関係した人々を中心に愛好された仏教や道教にまつわる人物を描いた道釈画(どうしゃくが)などをとりあげます。

「この人は誰?」「このポーズの意味は?」「何をしているところ?」——神仏と人物が表されるとき約束事や背景にあるストーリーを紐解きながら、やさしくご紹介します。

【開催概要】

展覧会名	絵画入門 よくわかる神仏と人物のフシギ
会 期	2025年7月5日(土)～9月23日(火・祝) 前期 7月5日(土)～8月11日(月・祝) 後期 8月13日(水)～9月23日(火・祝) ※前後期でほぼ全ての作品入れ替え
会 場	静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)
住 所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階
主 催	静嘉堂文庫美術館(公益財団法人 静嘉堂)
休 館 日	月曜日(7月21日、8月11日、9月15日、22日は開館) 7月22日(火)、8月12日(火)、9月16日(火)
開館時間	午前10時～午後5時 第4水曜日(7月23日、8月27日)は午後8時まで、 9月19日(金)、20日(土)は午後7時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで
入 館 料	一般1,500円 大高生1,000円 中学生以下無料
問い合わせ	TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)
ホームページ	https://www.seikado.or.jp
X	@seikadomuseum
Instagram	seikado_bunko_artmuseum

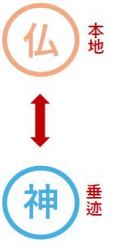
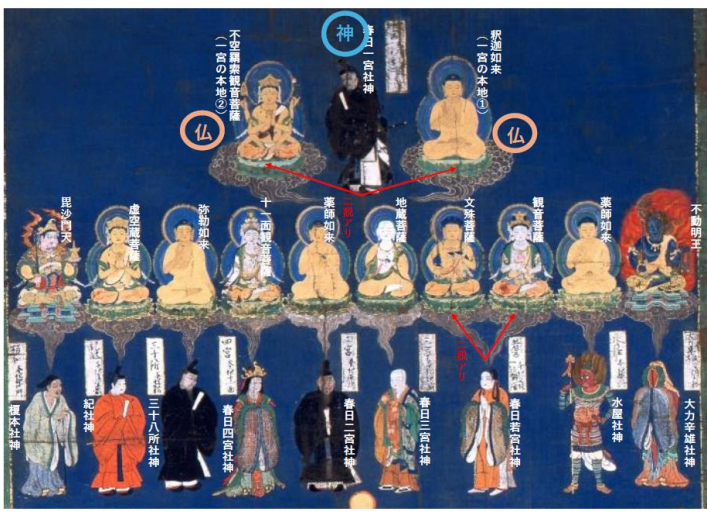
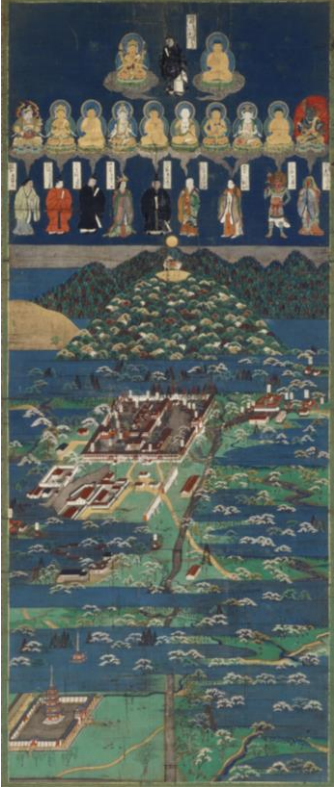


夏休み企画!
神さま仏さま、
習合!

<3つのみどころ>

- ①神仏と人物が描かれた絵画をわかりやすく解説
- ②入門展だけど国宝・重文・名品揃い!
- ③夏休みにもぴったり!展示室で謎に挑もう

① 神仏と人物が描かれた絵画をわかりやすく解説



春日社の社景を描く「春日宮曼荼羅」は、春日の神々を礼拝する際の本尊として制作され、複数の作品が現存しています。本作では、春日社の風景に加え、画面上部には春日社の神仏の本地垂迹関係が描かれています。

春日の神さま（垂迹神）からは、ふきだしのように雲が立ち昇って、本当の姿である仏さま（本地仏）が誰なのかが示されています。春日の神の使いである神鹿の姿もあります。

宮曼荼羅に、本^{ほん}迹^{じやく}曼荼羅、鹿曼荼羅の要素を合わせ持つ春日曼荼羅の集大成と言える作品です。

広報画像1
重要美術品「春日宮曼荼羅」
南北朝時代（14世紀）
後期展示

奈良・当麻寺に伝わる
つづれおりたいまんだら
「綴織当麻曼荼羅」は、綴織によって極楽浄土の様子を表した作品です。中央に浄土の様子が描かれ、左右と下部には經典の説話に基づいた絵がコマ割りで配されています。



鎌倉時代以降、「綴織当麻曼荼羅」は、極楽往生を願った中将姫が、阿弥陀如来や観音菩薩などの力を借り、蓮糸を用いて一夜で織ったという伝説が広まり、盛んに転写本が制作されました。本作は、鎌倉時代末期の「当麻曼荼羅」の優品のひとつです。



広報画像2 「当麻曼荼羅」 鎌倉時代（14世紀） 前期展示

中幅に白衣観音、右幅に鉄拐仙人^{てっかい}、左幅に蝦蟇仙人^{がま}を描いています。白衣観音は、禅宗で大切にされた仏で、観音が住む補陀落山^{ふだらくせん}の岩座に座る姿で表されています。蝦蟇と鉄拐は中国の伝説的な仙人です。鉄拐は、空に向かって勢いよく息を吹きだし、自分の魂を飛ばす姿で描かれています。蝦蟇の背には三本足のヒキガエルがおり、カエルを操って妖術を使ったとされています。本作は、元時代の画家・顔輝^{がんき}や東福寺の画僧・明兆による「蝦蟇鉄拐図」の図様を踏襲したものです。



広報画像3 「白衣観音・蝦蟇鉄拐図」 室町時代（16世紀） 後期展示



琴棋書画^{きんきしよが}とは、中国の知識人が身に付けるべき四つの教養で、琴を演奏し、碁を打ち、書物を読み、書や絵を嗜むことです。本作では右隻に琴と碁、左隻に書画を楽しむ人々を描いています。

作者の狩野常信^{かのうつねのぶ}は、木挽町^{こびきちやう}狩野家初代尚信^{なおのぶ}の子で、探幽^{たんゆう}の甥にあたります。木挽町狩野家二代目当主となり、幕府の御用を務めました。本作は、織細で装飾的な絵を得意とした常信による大画面絵画の優品です。



広報画像4 狩野常信「琴棋書画図屏風」 江戸時代（17～18世紀） 前期展示

（部分）

②入門展だけど国宝・重文・名品揃い！



元時代の画僧・因陀羅による作品で、悟りを得るきっかけを描いた禅機図と呼ばれる絵画です。現在は断簡となって伝わっています。

静嘉堂所蔵の「智常禅師図」は、樹の下に座する老僧・智常のもとに、張水部が教えを乞いに訪れるところを描いています。智常は笑みを浮かべながら、右手の人差し指で進むべき道を指し示しています。ここでは、禅僧との問答が悟りのきっかけとして表されています。

広報画像 5 国宝 因陀羅筆・楚石梵琦題詩「禅機図断簡 智常禅師図」 元時代（14世紀） 前期展示



広報画像 6 重要文化財 「春日本迹曼荼羅」 鎌倉時代（14世紀） 前期展示



広報画像 7 重要文化財 牧谿「羅漢図」 南宋時代（13世紀） 前期展示

（左図・広報画像6）

仏が人々を救済するために神の姿を借りて現れるという考え方を、本地垂迹思想と言います。本作は、春日社の本地垂迹関係を表した絵です。垂迹神から立ち昇る雲の上に本地仏の姿が描かれており、本地垂迹の対応関係がわかりやすく示されています。

美しい截金文様や、神仏が上下に描かれた春日の風景を割ったようにして分かりやすく現れる斬新な構図など、見どころが多い優品です。

（右図・広報画像7）

羅漢とは、悟りに達した聖者のこと。この羅漢は冷たい大気が満ちる山の中、静かに目を閉じて瞑想しています。伸びた髭と浮き出たあばら骨が、瞑想している時間の長さを物語っています。

南宋から元時代初期にかけて活躍した画僧・牧谿による作で、豊かな墨色で微光や空気感をも表現した水墨画の名品です。

③夏休みにもぴったり！展示室で謎に挑もう



広報画像 8 「大内函屏風」左隻（承安五節絵隻）
江戸時代（17～18 世紀） **後期展示**

平安時代末の承安年間（1171-75）
に行われた^{ごせちえ}五節会を描いた「承安五
節絵」という絵巻物を屏風に写した
作品です。舞姫の付き添いの人々
や、儀式に参加する貴族、五節舞を
鑑賞するためにお出ましになる天皇
の姿などが描かれています。

竹で姿が隠されている人は
だれでしょう？ （部分）



広報画像 9
重要文化財 「聖徳太子絵伝」第一幅
鎌倉時代（14 世紀） **前期展示**



作品を観ながら家族で楽しめる
謎解きワークシートも準備予定
夏休みは静嘉堂へ！

太子はどこに
描かれて
いるでしょう？



（部分）

「聖徳太子絵伝」は、聖徳太子の生涯に起こった様々な奇跡を太子の伝記に基づいて描いた作品です。

聖徳太子には、11歳の時に、一緒に遊んでいた36人の子どもが同時に話した内容を聞き分けたり、空中を飛んだりしたなど超人的な逸話が伝わっています。

イベント

夏休みは親子で美術館へ

1 謎解きワークシート

お子様と一緒に楽しく鑑賞するためのワークシートをご用意しています。展示室で「神仏と人物」のナゾに挑戦してみよう！

2 親子で楽しむギャラリー トーク

学芸員がお子様向けにわかりやすくお話をしながら展示室をご案内します。夏休みの自由研究のヒントがあるかも！？

日時：8月3日(日) 13:00～13:30 集合場所：当館ホワイエ

*いずれも参加無料

*小学生以下のお子様は保護者の付き添いが必要

*高校生以上、付き添いの大人は当日の入館券が必要

夏休み丸の内ご近所企画

三菱一号館美術館 & 静嘉堂文庫美術館をめぐる！チケット

イベント期間：7月19日(土)～8月31日(日)

2館入館券：3600円(400円お得)

両館でノベルティをプレゼント！

学芸員による作品解説

ギャラリートーク

7月10日(木) 12:30～13:00

7月23日(水) 18:30～19:00

8月21日(木) 12:30～13:00

集合場所：当館ホワイエ

*参加無料、当日の入館券が必要

【報道に関するお問い合わせは】

◆静嘉堂文庫美術館 広報事務局 (共同 PR 内 担当：三井)

※在宅勤務も増えているため、メールでいただけると助かります。

E-mail：seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

◆静嘉堂文庫美術館 E-mail：press@seikado.or.jp (広報担当：大森)

展覧会担当学芸員：藤田紗樹

E-mail:seikado-pr@kyodo-pr.co.jp
静嘉堂文庫美術館 広報事務局行(共同PR内 担当:三井)

「絵画入門 よくわかる神仏と人物のフシギ」2025年7月5日(土)～9月23日(火・祝)
静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)
【広報作品画像データ申請書】

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。E-mailでの送付が難しい場合、FAXでお申し込みください(FAX:0120-653-545)

<画像使用全般に関する注意>

- 展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、**指定表記、作家名、作品名、制作年、展示期間**を必ず掲載してください。**所蔵元(同一の場合)はまとめて1か所**でご記載ください。
- 作品画像は全図で使用してください。原則として文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません(画像背景を削除するなど可能です)。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。
- 概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	指定表記・作家名・作品名	制作年/制作年代	所蔵元	展示期間
	1	重要美術品「春日宮曼荼羅」	南北朝時代(14世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	後期8/13(水)～9/23(火・祝)
	2	「当麻曼荼羅」	鎌倉時代(14世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	前期7/5(土)～8/11(月・祝)
	3	「白衣観音・蝦蟇鉄拐図」	室町時代(16世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	後期8/13(水)～9/23(火・祝)
	4	狩野常信「琴棋书画図屏風」	江戸時代(17世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	前期7/5(土)～8/11(月・祝)
	5	国宝 因陀羅筆・楚石梵琦題詩「禅機図断簡 智常禅師図」	元時代(14世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	前期7/5(土)～8/11(月・祝)
	6	重要文化財「春日本迹曼荼羅」	鎌倉時代(14世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	前期7/5(土)～8/11(月・祝)
	7	重要文化財 牧谿「羅漢図」	南宋時代(13世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	前期7/5(土)～8/11(月・祝)
	8	「大内図屏風」左隻(承安五節絵隻)	江戸時代(17～18世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	後期8/13(水)～9/23(火・祝)
	9	重要文化財「聖徳太子絵伝」第一幅	鎌倉時代(14世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	前期7/5(土)～8/11(月・祝)
	10	ポスタービジュアル			

ご住所	〒
社名/媒体名	社名 媒体名
ご所属/ご担当者名	ご所属 ご担当者名
TEL/FAX	TEL FAX
E-mail	
掲載号/ 発売予定日	月号(月 日号) / 月 日発売予定 (発行部数 部) <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
チケット プレゼント	<input type="checkbox"/> 読者プレゼントを希望する ※プレゼント内容・数量に関しては別途ご相談となります。 応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。
チケット 送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。